

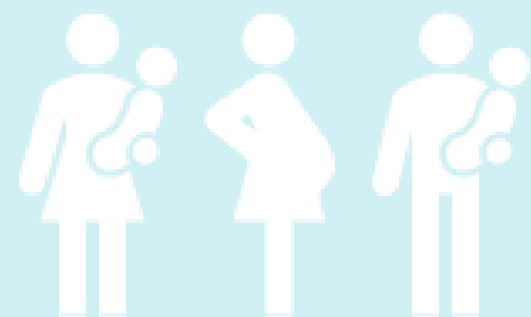
自分の居場所や話せる場所がない

あの人大丈夫かな？
電話を繋いでやさしさをシェア

まほうのコール



ひとり1回、気になるあの人へ電話をボタン繋ぎ。
赤ちゃんや小さい子がいる家庭・妊婦さんが思い浮かびますか？
思い浮かんだあの人に少し勇気を出して電話をかけてみましょう。
あなたからの「どう？大丈夫？」だけで、
まほうのように救われる気持ちざっとあります。
電話がかかってきた人は翌日に、また1人思い浮かんだあの人へ。
LINEやメールではなく「電話」がお約束です。



 @mahouseal

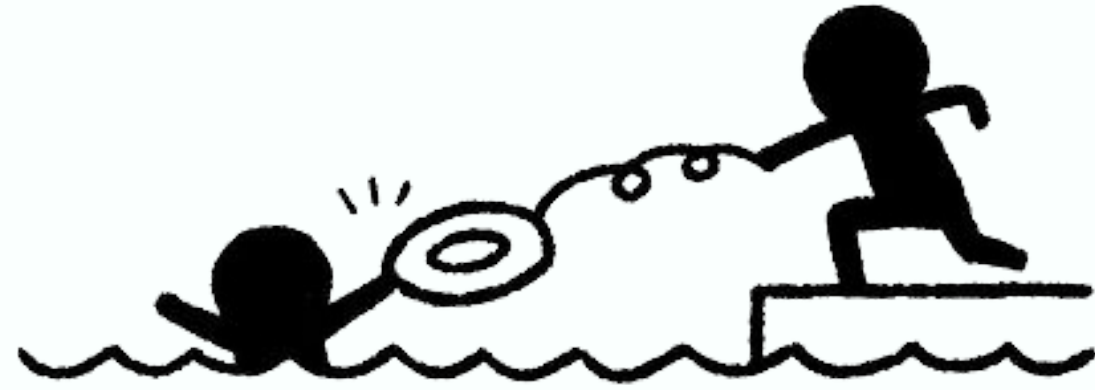
電話がある!!

親しい人の声を聞くだけで
オキシトシンが増える

オキシトシン
＝幸せホルモンは
不安やストレスを軽減させる

2020年4月に呼び掛け

適切な支援は、お互いの余裕が必要



受ける側がストレスを抱えていると支援が届かない



支援をする側がストレスを抱えていても届かない



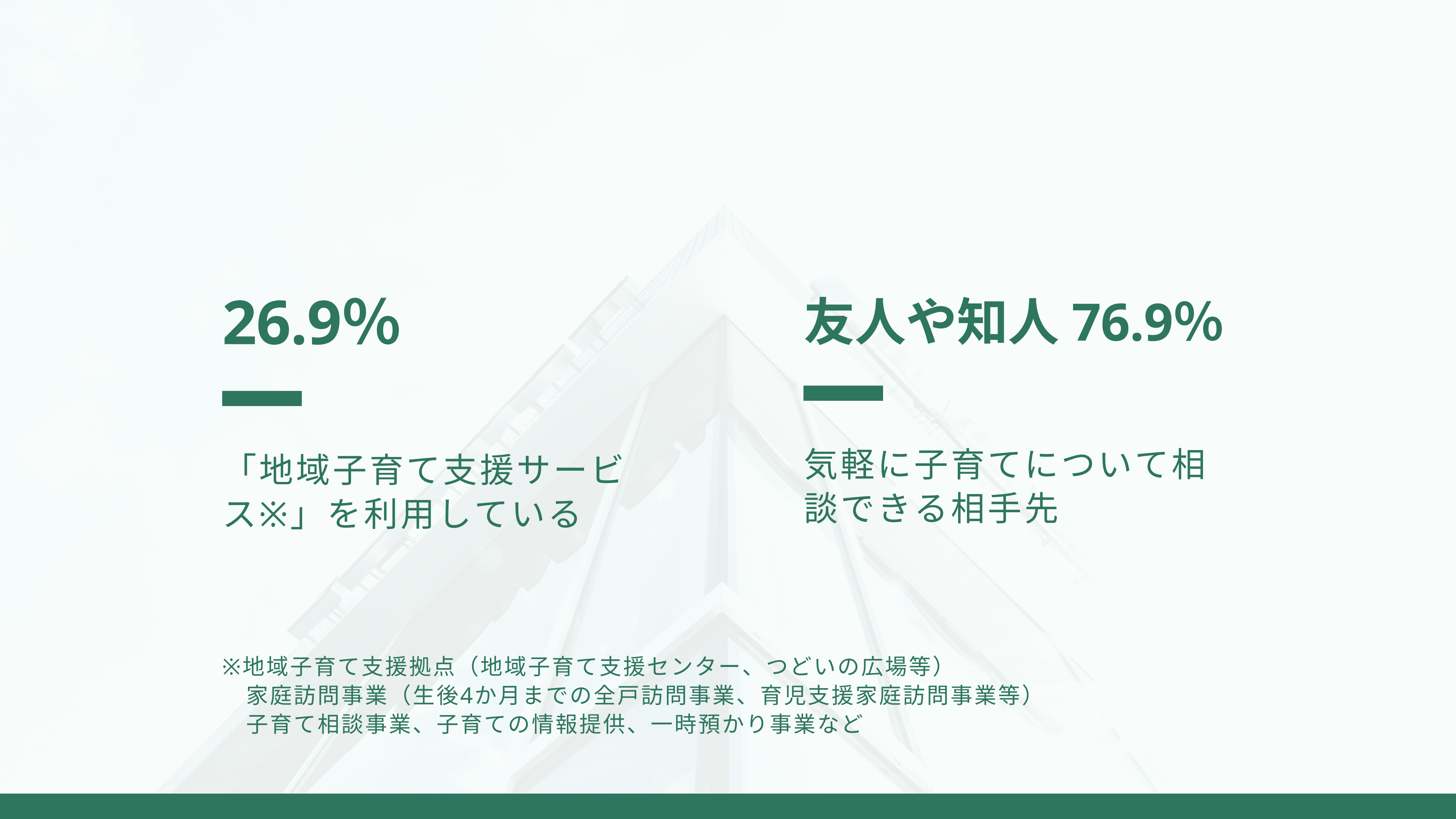
@takirei2

子育て支援を 受ける側の余裕

相談窓口⇒探さない
LINE⇒未読・既読スルー

電話は半強制的
&
「わざわざかけてくれた」

特別感



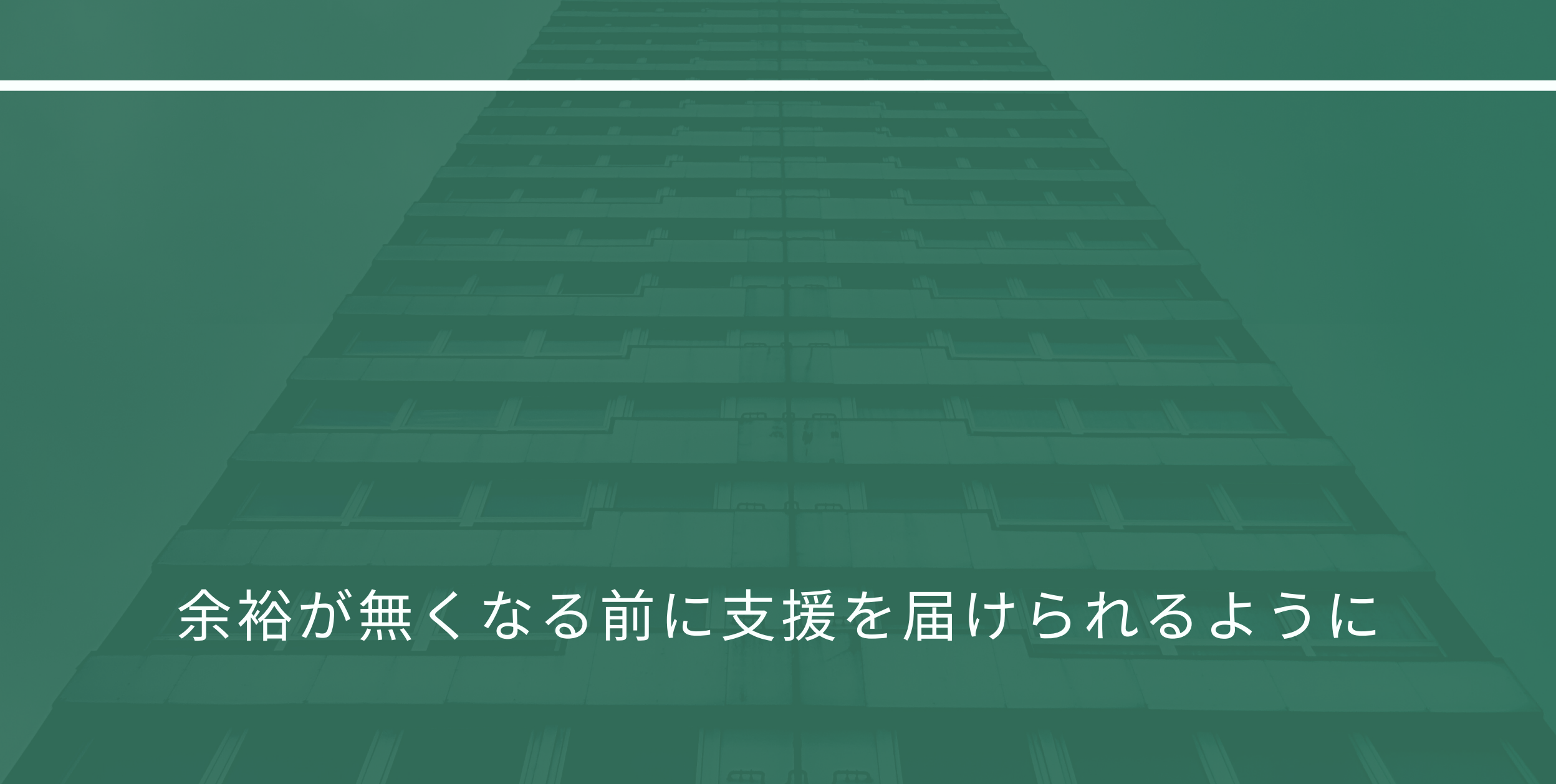
26.9%

「地域子育て支援サービス※」を利用している

友人や知人 76.9%

気軽に子育てについて相談できる相手先

※地域子育て支援拠点（地域子育て支援センター、つどいの広場等）
家庭訪問事業（生後4か月までの全戸訪問事業、育児支援家庭訪問事業等）
子育て相談事業、子育ての情報提供、一時預かり事業など



余裕の程度を可視化させ 支援を必要としているかどうか 客観的に判断する仕組みづくり

余裕が無くなる前に支援を届けられるように